2026.3

真空プレス型リチャージウェル工法

VPRW工法： SWP工法と一体化した復水工法

株式会社アサヒテクノ
岩手県北上市和賀町
電話　0197-73-6015

【復水が利用される背景】

① 下水道使用料の削減
下水道へ排水する場合、排水量に応じて 自治体から課金される。（例　東京都 345円/m^3、1000m^3 以上/月 の場合、2023年）

② 下水道・河川等への排水の回避
下水道・河川等の管理上、排水が不適な場合がある。

③ 周辺環境の保全
地盤環境（植生等）、地下水(資源）の保全

【現状の復水工法の課題】

① 揚水井戸1本に対し複数本の復水井戸が必要
揚水井戸（DW）１本に対し複数本（３本程度）あるいはは深い復水井戸が必要である。

② 完全復水が困難
目詰り等により一部を下水道に排水するケースが多い。

【VPRW工法の特長】

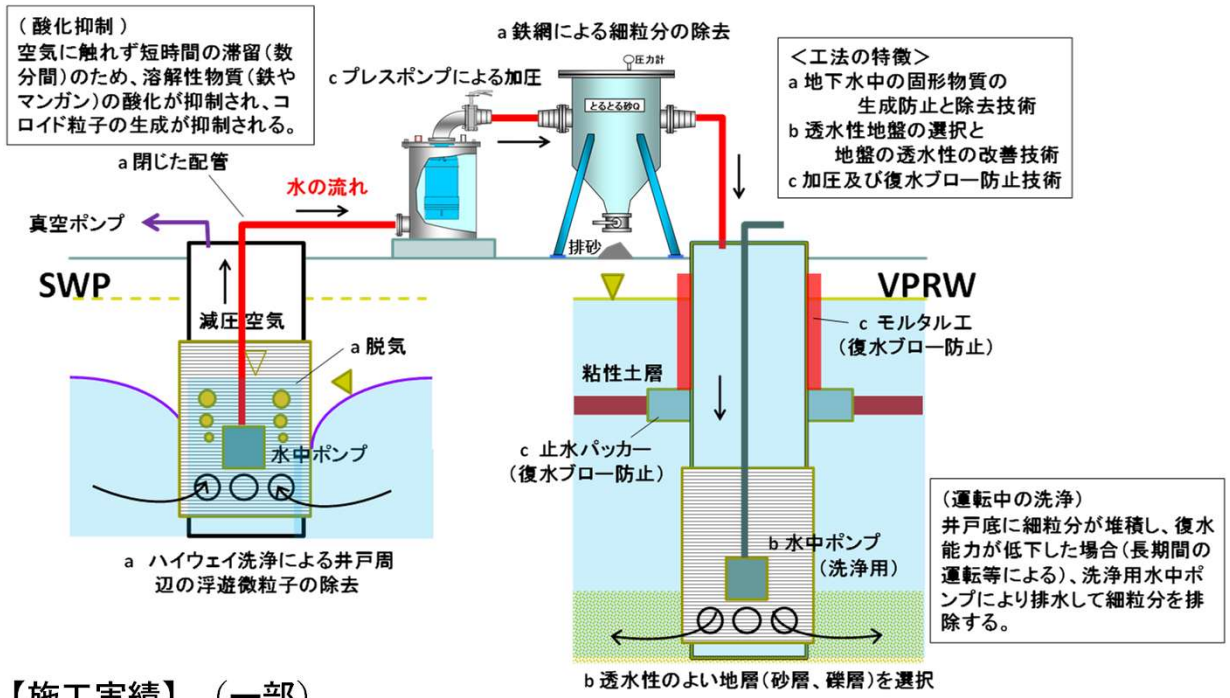
① SWP工法との一体化による復水量の低減
水位低下を図る場合、SWP工法による揚水量（＝復水量）がDW工法に比較して少ない。

② 完全復水が可能
①に加え 【概要】に示す対策により完全復水を実現する。

【復水設備 配置例】

市川市菅野下水処理場建設工事（千葉県）（日本下水道事業団発注）

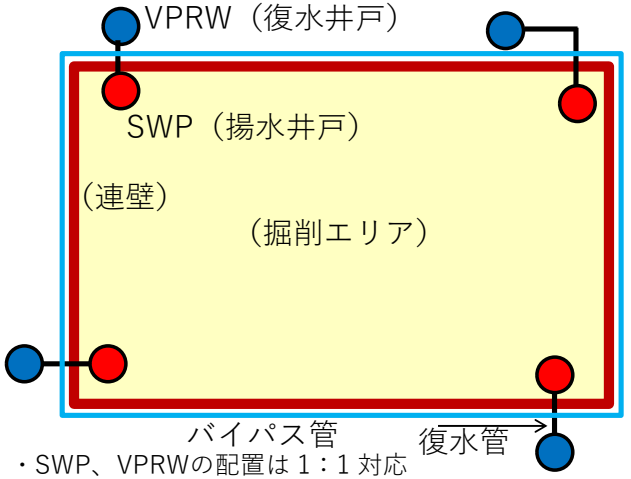
【概要】



【施工実績】（一部）

- 仙台空港アクセス鉄道開削トンネル部など（国土交通省 東北地方整備局 塩釜港湾空港整備事務所発注）
- 練馬清掃工場立替工事（東京二十三区清掃一部事務組合発注）
- 杉並清掃工場立替工事（東京二十三区清掃一部事務組合発注）
- 和歌山地方合同庁舎建築工事（国土交通省 近畿地方整備局発注）
- 船橋市立船橋高等学校第三体育館建替え工事（船橋市教育委員会発注）
- 九段南1丁目プロジェクト（九段会館テラス）（合同会社ノ－ヴェグランデ（東急不動産・鹿島建設）発注）
- 早稲田中学校・高等学校　3号館・興風館建替工事（学校法人早稲田高等学校発注）
- 虎ノ門一・二丁目地区第一種市街地再開発事業に伴う施設建築物新築建築工事（虎ノ門ヒルズ ステーションタワー）（森ビル発注）

【SWP、VPRW 配置想定図】



・SWP、VPRWの配置は 1：1 対応
・各復水管をつなぐバイパス管を配置
・復水管には流量計を設置